

第4学年 道徳科学習指導略案

令和6年2月14日(水) 第5校時

4年1組 児童数20名

授業者 上田 美緒

- 1 主題名 信頼のきずなを深めるために【友情、信頼】B―(9)
- 2 ねらい 料金不足を伝えることを決めたひろ子の思いについて考えることを通して、友を心から信頼しようとするのが真の友情であることに気づき、友達との信頼のきずなを大切にしようとする道徳的心情を育む。
- 3 教材名 絵葉書と切手(出典:あかつき教育図書)
- 4 学習指導過程

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点
導入	1 アンケート結果から友達とはどんな存在と知っているかを知る。	○アンケート結果を見て、どんなことを感じますか。 ・自分と違う考えがあって、いいなと思った。 ・友達にこんなふうに思ってもらいたい。	○思ったことや感じたことを自由に話させる。
展開	2 教材の範読を聞く。 ・前半部分を読む。 (1) 絵葉書をももらったときのひろ子の気持ちを考える (2) 迷っているひろ子の気持ちを考える。 (3) 自分がひろ子の立場だったらどうするか考える。 ・後半部分を読む。 (4) 料金不足だったことを書き足そうと決めたひろ子の気持ちを考える。	○愛子さんから絵葉書をももらったひろ子はどんな気持ちだったでしょう。 ・私のことを覚えていてくれてうれしい。 ・元気でいてくれてよかった。 ・返事を書きたいな。 ○ひろ子は何を迷っているのでしょうか。 ・教えたいけど、嫌われるかもしれない。 ・教えてあげないと、本当のことを知らないままになってしまう。 ○みんながひろ子の立場だったら、どうしますか。 ・他の友達にも同じことをしてしまったらいけないから料金不足だったことを知らせる。 ・嫌われるかもしれないから、お礼だけを伝える。 ・今度会ったときに伝える。 ◎ひろ子が、「愛子さん、きっと分かってくれる」と思ったのはなぜでしょう。 ・親友だから分かってくれる。 ・ずっといっしょだったから。 ・はなれていても分かってくれる。 ・信じているから。	○絵葉書を手に取り、本資料をより身近に感じさせるようにする。 ○一年生から仲良しだった二人の関係性を捉え、もらったときの喜びを共感させる。 ○兄と母の意見を整理し、どちらも愛子を思っていることに気付かせ迷っているひろ子の思いを捉えさせる。 ○ネームプレートを貼らせ、理由と共に話させる。どの考えも共感的に受け止め、多様な考えに触れることで自分の考えを深めさせる。 ○愛子を信頼して伝えることを決めたひろ子の心を考えさせる。 ○アンケート結果をもう一度ふり返り、友達について考える。
終末	3 「なかよしだから」を読み聞かせる。	○「絵葉書と切手」のお話と共通しているところはどこかな。 ・友達を信頼しているところ。	○道徳的価値を深めることができるようにする。

- 5 準備物 絵葉書、場面絵、ネームプレート、色カード、資料「絵葉書と切手」

第21回 絵葉書と切手

絵葉書をもたらしたひろ子

料不足
どうしよう
知らなかった

伝えるのが友達
よくないことだから
ほかの人にもわかる
友達と教えてあげるのが
いい

兄の意見
「おれだけ言っておいた
ほうがいい」

母の意見
「わごとはない
ミスってるかも
今度でもいい」

まよいるひろ子





自分がひろ子の立場なら

友だちだからこそ
同じ失敗をしない
ように
愛蔵さんのために
大切な友だち
良くなことを教えて
あげるべき

どちらの気持ちも
分かる
ミスってたくな
伝え方が分らない

わごとはない
いや思っている
会って伝えた方がいい
さらわれたくない

ゆりか

きこ

ひより

てん

はるこ

しんせ

はるひ

あけほ

ゆな

おと

はるか

どうり

どうけい

りお

さえ

ののか

さく

しい

あいさ

愛蔵さんごめんと分かれる
私の気持ちを分かってくれるから
友だちだから
信じられているから

返事を書きたい
覚えてくれた

がっかり
うれしい
早い
早く会いたいな
返事を書きたい
覚えてくれた